



昨今は、インターネット利用者の急増により、IPv4アドレスの枯渇や、IPv4アドレス通信の混雑による速度低下が発生しています

この現状を受け、アドレス枯渇の心配がほぼ解消されるIPv6のサービスが登場しました
日本においてもフレッツ光でIPv6サービスを利用できるようになっています

PLATIA II ひかり電話直収ユニット IPHO-02Aにて、IPv6接続が可能です

ポイント1

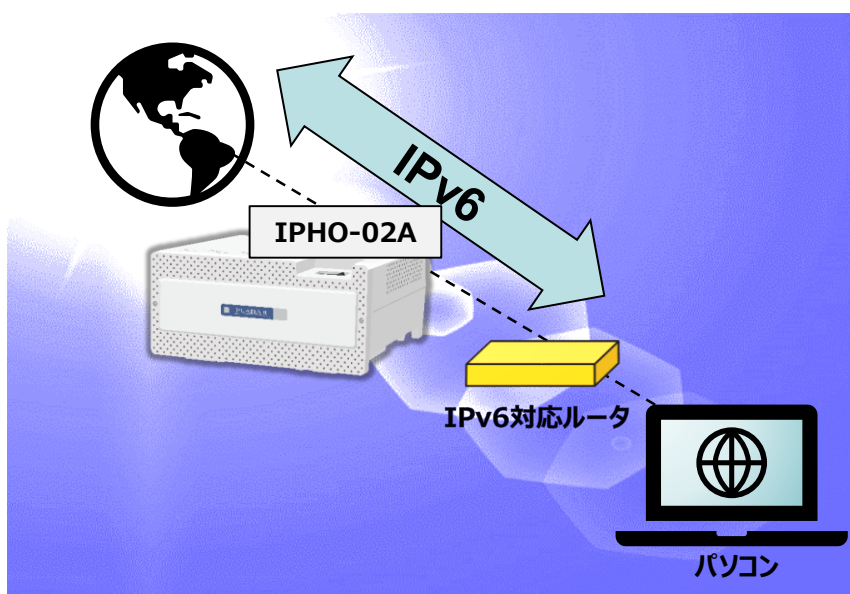
IPv6用Webサービスが
利用可能になります

- ・フレッツ ウイルスクリア
- ・フレッツ ひかりTV など

ポイント2

通信速度の改善

- ・IPv4の混雑を回避できるため、通信速度の改善が期待されます



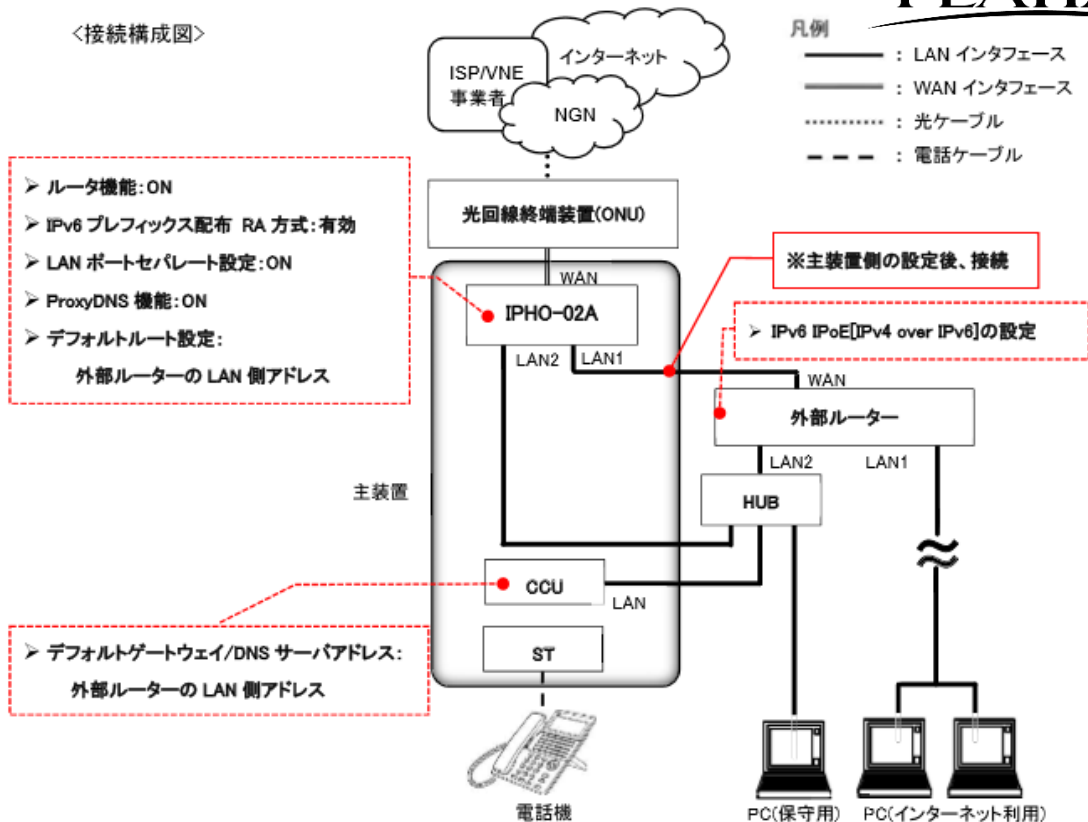
■ IPv6接続利用時の必要な機材について

PLATIA II でIPv6接続サービスを利用する場合、PLATIA II のファームウェアバージョンv7.6以上と、ひかり電話直収パッケージIPHO-02Aが必要となります

PLATIA II ファーム	IPHO-01A		IPHO-02A	
	IPv4接続	IPv6接続	IPv4接続	IPv6接続
V7.6未満	○	—	○	—
V7.6以降	○	—	○	○※

※IPHO-02A単体にてIPv6 IPoE(IPv4 over IPv6)機能は提供していないため、IPv6 IPoE(IPv4 over IPv6) を利用するためには別途、IPv6対応ルータが必要です

<接続構成図>



<設定のポイント>

IPHO	ルータ機能[D1206]: ON
	IPv6 プレフィックス配布 RA 方式[D1334]: 有効
	LAN ポートセパレート設定[D1207]: ON ※注 1
	ProxyDNS 設定[D1326]
	① ProxyDNS 機能: ON ② インタフェース番号: 指定無し
デフォルトルート設定[D1322]	① インタフェース番号: IP アドレス指定
	② 経路先 IP アドレス: 外部ルーターの LAN 側アドレス を指定
	ひかり電話利用設定は、別途設定すること
CCU	主装置デフォルトゲートウェイ[D801]/主装置 DNS サーバアドレス[D806] 外部ルーターの LAN 側アドレス を指定

注 1: 本設定により、IPHO の LAN1/LAN2 のカスケード接続はご利用できません。上記図のように外付けスイッチ(HUB)をご利用ください。

- One Point -

- ◆本機能はIPHO-01Aでは利用できません。
- ◆IPHO-02AはIPv4通信をIPv6通信に変換(IPv4 over IPv6)は行いません。
IPv4 over IPv6通信を利用する場合は、**外部ルーターを設置し利用してください。**
- ◆LAN側の機器へのIPv6アドレスプレフィックスの配布は、DHCPv6-PDとRAが対応しています。
- ◆IPv4 over IPv6通信の契約がグローバルIPv4が固定となる**IPIP方式**ではない場合は、**IPv4アドレスを利用したポートフォワード(地震速報やMLiner、サーバ公開など)は利用できない可能性があります。**
また、**契約方式に関わらずDDNS、UPnPの利用はできません。**これらの機能が必要な場合、従来のPPPoEによるIPv4通信の併用を検討してください。
- ◆IPHO-02Aはマルチキャスト配信に対応しています。IPv6マルチキャストを利用するサービスとして、例えばフレッツ光TVなどを利用することができます。